

平成29年1月度活動報告

1. 総括

酉年の平成29年も始まり、お陰様をもちまして1月度も心新たに議員活動に邁進させて頂きました。市民の皆様が方にご付託を頂いてから約2年が経ち、選挙時に訴えさせて頂いておりました政策(新幹線開業を見据えた中心市街活性化、子育て環境改善、安全な街づくりへのインフラ整備促進等)に取り組ませて頂いている中で実際に改善ができているもの、議論が深まっているもの、反対のご意見があり中々進まないものがありますが今後とも信念を持ち敦賀の将来を見据えてあらゆる機会を通してしっかりと政策実現できるように行政側と建設的な議論をして参ります。

1月は新年のご挨拶回りなど慌ただしく過ぎて行きましたが、23日にもんじゅ廃炉決定に伴う議員説明会がありました。地元軽視の廃炉決定、廃炉に至るまでの地元への説明不足、廃炉に伴う地元経済悪化に対しての国の甘い見解など議員側から怒号が飛ぶ非常に厳しい説明会でありました。もんじゅ廃炉の決定は覆ることはない中で敦賀市として地元雇用の維持、地元経済悪化を最小限に抑えるための国からの支援協議、将来的な産業の複軸化を着実に進める方向性など今まさに議員がしっかりと議論しなければならないと強く感じております。また足元では3月定例会に平成29年度の当初予算案が示されます。今年度6月・9月・12月の定例会や日々の議員活動での提案・要望が反映されてくると存じますので全力で審議・議論をさせて頂き敦賀市政の改善に繋げて行きます。

大変な過渡期にある敦賀市ではありますが、次の世代に住みよい愛される敦賀を残せるようにこれからも全身全霊頑張る所存です。何卒引き続きご指導ご鞭撻を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

2. 1月30日(月)会派での行政視察の内容について

場所：大阪府枚方市役所

部署：産業文化部 産業振興室 商工振興課、文化生涯学習室
都市整備部 都市整備推進室 まちづくり推進課

摘録：商業活性化について

枚方市の人口は40万人を超えており、大阪府内でも4番目の人口規模の街である。近年も人口が増加しているが、地方都市で多くみられる商店街や中心市街地等は衰退してきている。その中で市民が立ち上がりまちづくり協議会を作り、地域の歴史(東海道56番目の宿場町)を活かし、枚方市民が自分たちの街に誇りをもてるような街づくりを進めている取り組みを視察した。その一つに毎月行われる「五六市」(東海道56次からの名称)の取り組みがある。五六市では出店できるブースは200店舗であるが250以上の店舗出店依頼があり盛況であるとの事。説明の中で行政はあくまで黒子役に徹し、民間主導で運営するのが成功のカギであり観光協会等との連携も図っているとの事。民間のやる気のあるグループで構成されている約25名の「まちづくり協議会」が機能していると感じた。この五六市で賑わいを作り、その中で新しく商売を始めたい方々に行政が補助金などでサポートする流れがある。敦賀市も商店街周辺は氣比神宮を始め歴史的文化的文化財が多くあり、民間、行政、関係機関が力を合わせて月に一回でも大きな賑わいつくりをしていく必要があると感じる。今回の視察を糧に今後の敦賀市商業活性化に取り組んで行きたい。



3. 2月の行動予定

- ・嶺南広域行政組合行政視察、敦賀市防衛懇話会総会参加、議員説明会(コミュニティバス再編計画等)各種会合参加等

以上